

「オール千葉県の会」主催

アベ改憲NO！千葉県民集会に1500人

安保法制＝戦争法の廃止をめぐす市民団体「安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会」は4月7日、千葉市の中央公園で、「アベ9条改憲NO！県民集会」を開き、1500人が参加しました（主催者発表）。

共同代表の渥美雅子弁護士が主催者あいさつし、「憲法9条に自衛隊を書き込めば、安倍総理の指令一つで自衛隊がどこにでも出かけて戦争ができるようになってしまう」と指摘。「改憲させないためにも私たちは今すぐ声をあげ、行動を開始しよう」と呼びかけました。

日本共産党の畑野君枝衆院議員、椎葉寿幸党県副委員長（参院比例）、斉藤和子前衆院議員が参加。畑野議員があいさつし、「いま安倍首相がやるべきは9条改憲ではなく、自らの内閣総辞職だ。憲法を生かす『3000万人署名』を成功させ、改憲発議を絶対に許さない大きな運動を起そう」と訴えました。

民進党の小西洋之参院議員、立憲民主党の生方幸夫衆院議員がそれぞれあいさつし、安倍政権退陣を訴えました。

社民党のかつまた竜大市川市議、新社会党千葉県本部の鳩川（におかわ）静書記長、緑の党千葉県本部の小西正人運営委員長が連帯のあいさつ。



県民集会でフラカードを掲げて意思表示する参加者
〓 4月7日・千葉市内



県民集会後のデモ行進で歩く丸山慎一県議
〓 4月7日・千葉市内

立憲民主党の宮川伸衆院議員、市民ネットワーク千葉県がメッセージを寄せました。

オスプレイ木更津配備反対の訴えも

集会ではオスプレイの木更津配備に反対する市民団体など

千葉県議会が今年度も海外視察を実施 自民・民進の議員10人がタイ・シンガポールへ

千葉県議会では3月15日の2月定例会県議会最終日に、2018年度の「海外視察」の実施を決めてしまいました。これで復活してから6年連続の実施となります。

今回の行き先はタイとシンガポールで、参加議員は自民党8人、民進党2人の計10人。概算経費は1200万円となっています。

実施期間は、7月17日から21日までの5日間。調査先は「現地行政機関および流通販売関係施設」「観光振興関係機関」「現地進出日系企業」などとなっています。

千葉県議会では1990年代のバブル崩壊以降、それまで実施してきた「海外視察」

船橋市内各地で日本共産党後援会などの主催による「報告会」や「語るつどい」などが開かれています。

地域住民のみなさんが気軽に参加して、「もっと保険料が安くならないものか」「親の介護が大変で先が見えない」「近くの道路が危ないので歩道をつけてほしい」など、様々な質問や意見、要望を出し合う場にもなっています。



各地で開かれている報告会では活発な意見交換がされています。
〓 4月15日・西船橋

〔千葉県議会海外視察実施状況〕

実施年度	行き先	期間	参加人数		費用総額
			議員	随行	
2013年度	シンガポール マレーシア	5日間	11人	2人	493万円
2014年度	ベトナム	5日間	15人	3人	467万円
2015年度	ブラジル	10日間	9人	3人	1966万円
2016年度	イギリス	7日間	16人	3人	1814万円
2017年度	インドネシア フィリピン	5日間	5人	2人	682万円
2018年度	タイ シンガポール	5日間	10人	未定	1200万円

※費用総額は千円以下を切り捨て。2018年度は予定。